

世界遺産推進プロジェクト

# 三池炭鉱 の記憶

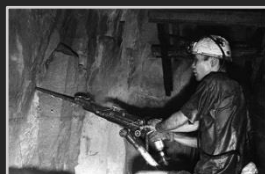
高木尚雄写真展

元炭鉱マンが遺した三池炭鉱の記憶の数々・・・  
地下 500 メートルでの坑内労働から炭鉱住宅での生活まで、貴重な写真を 90 点展示

日本の近代化を支えた石炭産業。そのなかでも有数の出炭量を誇ったのが、福岡県大牟田市と熊本県荒尾市にまたがって操業していた三池炭鉱でした。

今回、三池炭鉱の炭鉱マンであった高木尚雄氏(1923～2015)が、昭和 33(1958)年頃から半世紀にわたり撮影した 6,000 コマ以上の写真のなかから、厳選した 90 点を展示いたします。

撮影困難とされた坑内労働の様子をはじめ、炭鉱の風景や社宅で生活する人々など、元炭鉱マンだからこそ撮影することができた三池炭鉱の貴重な写真の数々を、ぜひご覧ください。



## ◆期間

2016年 9月28日(水)～10月1日(土)

◆時間 10:00～17:00

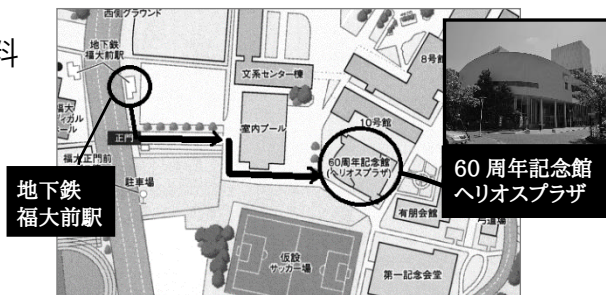
◆会場 福岡大学 60周年記念館 (ヘリオスプラザ)

6階 ギャラリー

福岡市城南区七隈八丁目 19-1

(福岡市地下鉄七隈線「福大前駅」下車、徒歩5分)

## ◆入場無料



文系センター棟 1F プラザ 50 にて  
「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に関する解説  
パネルも展示いたします。

## ◆お問い合わせ

福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所  
(担当：藤野)

電話：092-871-6631(代) 内線 4046

※受付時間 平日 10:00～16:50

Eメール：yuzo@adm.fukuoka-u.ac.jp

主催：福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所  
荒尾市

協力：高木英一氏／木下正文氏  
後援：福岡市